

みどり・ミドリ・緑

神奈川は海、平野、丘陵、山岳等に加え、相模川や酒匂川などの河川や、芦ノ湖などの湖沼といった変化に富んだ地形を有し、多様な自然環境に恵まれています。県西部には箱根や丹沢大山などの多様な表情を持つ豊かなみどりが残っています。

しかし、県東部や中部地域では、身近な里山などの雑木林を中心にみどりが著しく減少しています。

県では、丹沢大山の自然環境や都市のみどりを保全したり、都市公園を整備するなど、みどりの創造と保全に取り組んでいます。

守らなければならないもの...

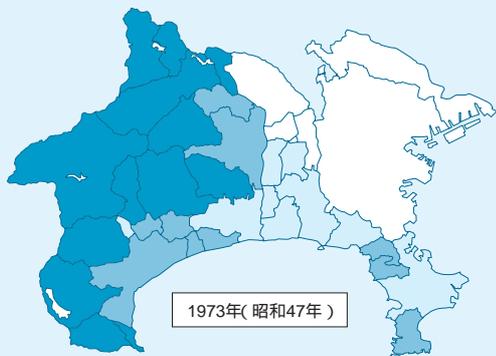


丹沢には、国の特別天然記念物のニホンカモシカや天然記念物のヤマネなど保護すべき動物たちがいます。

ニホンカモシカやヤマネは、森林に依存しているため、これらを保護していくには多様な森林を維持することが必要です。

ヤマネ (写真提供: 丹沢湖ビジターセンター 山口喜盛さん)
神奈川県では丹沢山地と県北部の相模湖周辺の森林に生息し、晩秋から春まで冬眠します。

みどり(緑地率)の推移



緑地率 =	森林面積 + 農地面積	70%以上
	市町村面積	70%未満
		50%未満
		30%未満

	緑地率
昭和47年	54.0%
平成19年	48.1%

被害を与えるものも...

神奈川は県土が狭い割に自然環境が変化に富んでいるため、生息する鳥獣の種類も豊富です。

しかし、農林水産業や人の生活に被害を与えるなど、人と鳥獣との関係が悪化しているほか、自然生態系のバランスを崩すものもあります。

そこで、県では、特に問題となっているニホンジカとニホンザルについては保護管理計画を策定して、対策を進めています。

生まれは違うけど...

ペットとして日本に輸入された動物たちが、野生化し、農作物被害や生活被害を発生させています。

また、これら外来生物による自然生態系への影響も心配されています。

県では、アライグマについては防除実施計画を策定して、市町村とともに捕獲や被害防除対策を進めています。

農作物を荒らす様子



ニホンジカ
畑でナスを食べるシカ。



ニホンザル
畑でダイコンを食べるサル。

“可愛い”だけではない



タイワンリス (台湾南部原産)
樹をかじるタイワンリス。
樹や家の戸袋をかじる被害も出ています。



アライグマ (北アメリカ原産)
家の屋根裏などに巣を作るアライグマ。
可愛い顔してかなりどう猛。